

自然や命を大切に作る心、他者を思いやる心を養うことができるような歌詞をもつ歌唱教材を多く取り入れました。

ポピュラー・ソング、合唱曲など多彩なラインアップ

糸 (P.16-17)

初恋 (P.24-25)

明日の木 (P.95~97)

我が国及び諸外国のさまざまな音楽を取り上げ、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土の伝統音楽を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うことができるようにしました。

文化的・歴史的背景を学びながら、さまざまな音楽を尊重

日本の伝統音楽 (P.70-71)

琵琶 (P.70)

歌舞伎 (P.71)

長唄に親しもう (P.72-73)

越後獅子 (P.72-73)

世界の諸民族の音楽 (P.84-86)

【身振り】を伴った表現 (P.84-86)

ガウリガンス (P.86)

ラクンパルシータ (P.86)

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全般	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな音楽的感性や情操を育成することのできる教材を選択・配列しました。(第一号) 	P.2 ~ 119
歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> 英語の学習と関連付けられるように、英語の歌唱教材を取り上げました。さらに、イタリア語やドイツ語、フランス語にも興味・関心をもつことのできる教材を含めました。(第一号) 自然や命を大切に作る心、他者を思いやる心を養うことのできる教材や、道徳的観点と関連付けて取り上げることのできる教材を含めました。(第一号、第三号及び第四号) 我が国の民謡と長唄を歌唱教材として取り上げ、我が国の伝統的な歌唱の学習を確実に行うことができるよう配慮しました。また、ハワイの歌をウクレレによる弾き歌い教材として取り上げ、他国の文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。(第五号) 世代を超えて親しみ、歌い継いでいくという趣旨を生かした学習が行われるような教材を掲載しました。また、それぞれの歌詞で歌われている風景に情趣を感じる心を養い、自然の大切さや環境保全の意義についても考えることができるようにしています。(第一号及び第四号) 	P.34 《Funiculi-Funiculà》 P.35 「イタリア語の歌を歌おう」 P.36 《Nel cor più non mi sento》 P.38 《Vaga luna, che inargenti》 P.40 《Mi chiamano Mimi》 P.41 「フランス語の歌を歌おう」 P.42 《Je te veux》 P.44 「ドイツ語の歌を歌おう」 P.45 《Als die alte Mutter》 P.46 《Der Lindenbaum》 P.49 《Der Vogelfänger bin ich ja》 P.82 《L-O-V-E》 P.82 《Can't Take My Eyes Off Of You》 P.12 《ダンスホール》 P.14 《ガーネット》 P.15 《銀河鉄道 999》 P.16 《糸》 P.18 《今宵の月のように》 P.23 《浜辺の歌》 P.24 《初恋》 P.28 《からたちの花》 P.32 《天体観測》 P.74 《涙そうそう》 P.87 《誰かがちいさなベルをおす》 P.88 《上を向いて歩こう》 P.90 《赤とんぼ》 P.92 《背のび》 P.95 《明日の木》 P.30 《Kaimana Hila》 P.72 「長唄《越後獅子》から」 P.75 《安里屋ユンタ》 P.78 《おぼば》 P.23 《浜辺の歌》 P.90 《赤とんぼ》

	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動によって、協働しながら学習を進めることができる教材を含めました。(第三号) 	<p>P.34 《Funiculi-Funiculà》</p> <p>P.67 《民衆の歌》</p> <p>P.88 《上を向いて歩こう》</p> <p>P.90 《赤とんぼ》</p> <p>P.92 《背のび》</p> <p>P.95 《明日の木》</p>
器楽教材	<ul style="list-style-type: none"> 各楽器の特性や基礎的な奏法を理解することができるように、分かりやすい図版と説明文を示しました。(第一号) 和楽器の学習活動を通して、我が国の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わえるようにしました。(第五号) 他国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、南アメリカ地域の伝統的な音楽を取り上げました。(第五号) グループ活動によって、協働しながら学習を進めることができる教材を含めました。(第三号) 	<p>P.30 「ウクレレ」</p> <p>P.33、79、80 「Let's Play the GUITAR」</p> <p>P.50 「リコーダー」</p> <p>P.74 「三線」</p> <p>P.74 《涙そうそう》</p> <p>P.75 《安里屋ユンタ》</p> <p>P.76 「箏」</p> <p>P.76 《子守歌》</p> <p>P.77 〈初段〉(箏曲《六段の調》から)</p> <p>P.78 「篠笛」</p> <p>P.78 《さくら》</p> <p>P.78 《おばば》</p> <p>P.86 《ラ・クンパルシータ》</p> <p>P.22 《Prelude III》</p> <p>P.50 《夏は来りぬ》</p> <p>P.52 《ロンド》</p> <p>P.54 《シンコペーテッド・クロック》</p>
創作教材	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の創造性を育成するために、創作の学習目標と学習内容を明確に示しました。(第二号) グループ活動によって、協働しながら学習を進めることができる教材を含めました。(第三号) 	<p>P.56 「創作1 構成を工夫して作品をつくろう」</p> <p>P.58 「創作2 和音のつながりを意識して旋律をつくろう」</p> <p>P.59 「創作3 旋律の雰囲気を変化させよう」</p> <p>P.60 「創作4 編曲に挑戦しよう」</p> <p>P.56 「創作1 構成を工夫して作品をつくろう」</p>
鑑賞教材	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国と郷土の伝統音楽を明確な学習の観点から学ぶことができるようにしました。(第五号) 他国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、世界各地の伝統的な音楽を取り上げました。(第五号) さまざまなジャンルの音楽に親しむ態度を育成し、幅広い知識を身に付けられるよう、映画音楽やミュージカルを取り上げました。(第一号) 作曲家の生涯を通して、時代背景や職業及び生活との関連を考察できるようにしました。(第二号) 	<p>P.70 「日本の伝統音楽」(琵琶楽、文楽、歌舞伎)</p> <p>P.73 「郷土の芸能」</p> <p>P.84 「世界の諸民族の音楽」 (身振りを伴う表現)</p> <p>P.62 「映画音楽を聴こう」</p> <p>P.64 「ミュージカル《レ・ミゼラブル》」</p> <p>P.107 「L.v. ベートーヴェン」</p>

<p>その他の教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、道徳心を培うことができるよう、コラムや読み物を豊富に取り入れました。(第一号) ・生命を尊び、自然を大切にする心や、我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、日本各地に伝わる芸能を取り上げました。(第四号及び第五号) ・サティの青年時代に焦点を当て、音楽に関わる職業や他分野との関わりに興味・関心をもつことができるよう配慮しました。(第一号及び第二号) 	<p>P.19 「ルールを守って音楽を楽しもう！」</p> <p>P.37 「変奏曲」</p> <p>P.41 「フランス語に由来する言葉」</p> <p>P.105 「ガーシュインとラヴェルとの関係」</p> <p>P.73 「郷土の芸能」</p> <p>P.43 「サティとモンマルトル」</p>
<p>口絵資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幻想的で斬新な演出によって上演されるオペラの様子や、文楽と歌舞伎の舞台に関するイラストや写真を通して、舞台芸術の最先端のアイデアや伝統の継承について考察できるようにしました。(第二号及び第五号) ・音楽とダンスが結び付いたさまざまな例を取り上げ、伝統と文化を尊重しながら、主体的に社会と関わる態度を養うことができるようにしました。(第三号及び第五号) 	<p>P.2 「Invitation to Music!」</p> <p>P.4 「文楽」</p> <p>P.5 「歌舞伎」</p> <p>P.6 「Dance」</p>

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

▶判型と紙面構成

- ・A4判を採用し、使いやすさと内容の充実を図りました。また、楽譜の見やすさ、文章の読みやすさに配慮しました。
- ・さまざまな色覚特性をもつ生徒にも使いやすいデザインを目指しました。
- ・教材ごとに「具体的にどのような活動を行い、何を学ぶのか」を明確に示しました。
- ・学習活動をサポートする資料や、表現と鑑賞の学習を深めるための教材などへ、適宜リンクを張っています。また、歌唱、器楽、創作、鑑賞を互いに関連付け、音楽の能力が確実に定着するよう、各紙面にさまざまな工夫を凝らしました。

▶各学校の実態に応じて多面的な学習活動を展開できる教材

- ・合唱曲については、同声（女声・男声）、混声など、さまざまな曲態を掲載しました。
- ・ウクレレとギターを取り上げ、より幅広い活動ができるようにしました。
- ・リコーダーについては、ソプラノとアルトのどちらでも演奏できる曲を掲載しました。
- ・和楽器については、三線、箏、篠笛の3種類を取り上げました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-130	高等学校	芸術	音楽Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
27 教芸	音Ⅱ 027-902	MOUSA 2		

1 編修上特に意を用いた点や特色

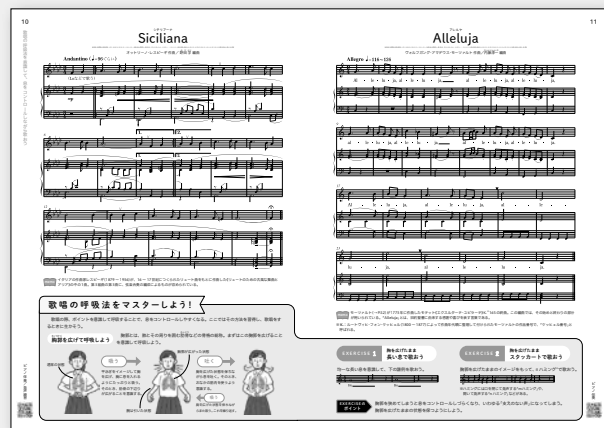
本教科書は、芸術科音楽Ⅱの学習を通して、生徒の「資質・能力」を育成します。

- 音楽のより深い知識及び技能の習得
- 音楽の諸活動を通じた個性豊かな思考力、判断力、表現力等の育成
- 音楽の諸活動を通じた学びに向かう力、人間性等の涵養

①音楽のより深い知識及び技能の習得

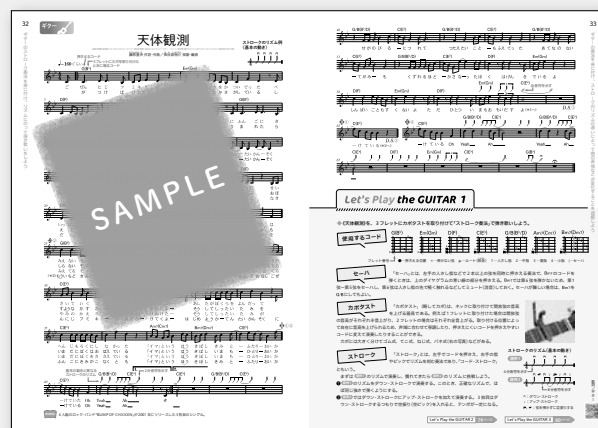
音楽Ⅰで習得した知識及び技能を基盤として、生徒がより深く理解できるようにすることを最大の目標としています。特に、表現上の効果を理解し、生かすことのできる歌唱・器楽教材と、深く理解し味わえる鑑賞教材を充実させました。

息をコントロールするための歌唱の呼吸法を明示



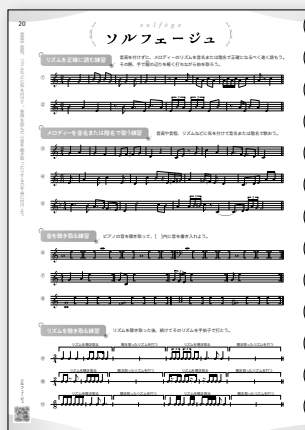
(P.10-11)

演奏する曲とその奏法の説明を一体化させた紙面構成



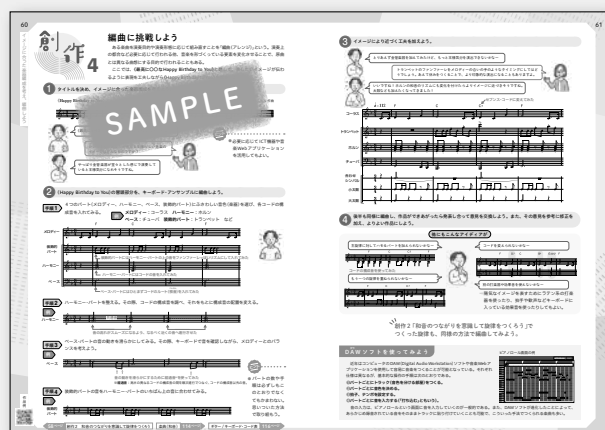
(P.32-33)

音楽の基礎的な能力を定着させる充実した内容



(P.20-21)

器楽教材と創作を関連させながら、手順を踏んだ説明と、豊富な例で創作方法を明示



(P.60-61)

②音楽の諸活動を通した個性豊かな思考力、判断力、表現力等の育成

「主体的・対話的で深い学び」をさらに個性豊かに実現させるため、学習の目標や活動のポイントなどを明示しています。また、表現と鑑賞の一体化を図った教材、表現上の効果やパートどうしの調和を実感することのできる創作教材及びアンサンブル教材を掲載しました。

《初恋》を用いた主体的・対話的で深い学び

活動のポイントを具体的に明示

この教材は、音楽の学習活動における「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのポイントを示しています。具体的には、以下の活動が示されています。

- 「初恋」の曲調やリズムを聴き、その特徴を話し合う。
- 楽譜を読み取り、楽器で演奏する。
- 歌詞の意味や感情を話し合い、表現する。

(P.26-27)

ミュージカル《レ・ミゼラブル》の鑑賞

鑑賞のポイントを具体的に明示

ミュージカル《レ・ミゼラブル》の鑑賞ポイントを示しています。具体的には、以下のポイントが示されています。

- 登場人物の役割や関係性を理解する。
- 音楽の表現力や演出の効果を分析する。
- 社会問題や人権問題について考える。

(P.64-65)

鑑賞の学習内容を明示

「にどもの唄」の鑑賞学習内容を明示しています。具体的には、以下の学習内容が示されています。

- 曲の背景や歌詞の意味を理解する。
- 楽器の演奏や歌唱の表現を学ぶ。
- 社会問題や人権問題について考える。

(P.99)

SAMPLE

(P.13)

主体的な活動を促すための「考えてみよう!」のコーナー

表現と鑑賞の一体化

鑑賞曲の中のミュージカル・ナンバーを歌唱教材として掲載

「夢がふれて」と「民衆の歌」の楽譜を掲載しています。これらは鑑賞曲の中から選り出されたミュージカル・ナンバーです。

(P.66-67)

③音楽の諸活動を通した学びに向かう力、人間性等の涵養

生活や社会、伝統や文化などに関連付けた内容及び二次元コードを用いて調べることのできる学習活動を充実させました。生徒が音楽の学習を意義あるものとして捉え、生涯にわたって音楽文化に親しむ態度を育むことができるよう配慮しました。

生活や社会、伝統や文化などに関連付けた内容

「L.V. ベートーヴェン」に関する学習内容を示しています。具体的には、以下の学習内容が示されています。

- ベートーヴェンの生い立ちや代表作について学ぶ。
- 音楽の歴史や文化について考える。

(P.107 ~ 109)

生涯にわたって音楽文化に親しむ態度を育成

「イタリア語の歌を歌おう」に関する学習内容を示しています。具体的には、以下の学習内容が示されています。

- イタリアの文化や音楽について学ぶ。
- イタリア語の歌を歌唱する。

(P.35)

「三線」と「Kaimana Hila」に関する学習内容を示しています。具体的には、以下の学習内容が示されています。

- 三線の演奏や歌唱の表現を学ぶ。
- ハワイの文化や音楽について学ぶ。

(P.30-31)

学習をサポートする参考資料を閲覧できる二次元コード

(P.74-75)

